

## 平成22年度第6回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

- [日 時] 平成21年 10月5日(火) 15:00~17:00
- [場 所] 琉球大学医学部管理棟2階 小会議室
- [参加者] 6名: 上江洲富夫(沖縄県骨髄バンクを支援する会代表)、  
三木雅貴(患者)、島袋勇(PM エージェンシー)、  
高橋 慶行(県立中部病院)、上原忠司(那覇市立病院外科)、  
増田昌人(琉大病院がんセンター)、
- [欠席者] 5名: 吉田祐子(患者)、渡嘉敷 通之(沖縄県保健体育課課長)、  
宮里 治、(沖縄県健康増進課成人保健班)、幸地 周(北部地区医師会)、  
長井 裕(琉大病院産婦人科)、
- [陪席者] 1名: 城間駒生(琉大病院がんセンター)、

協議に先立ち、平成22年度第5回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

### 【報告内容】

#### 1. がんに関する一般者向け講演会講演者リストについて

資料2に基づき、沖縄県がん診療連携協議会ホームページへがんに関する一般向け講演会

講演者リストが掲載されていることが報告された。これは県内のがん医療を行っている医療機関(30医療機関)に依頼し、がん腫毎にテーマを挙げ、病院別、部位別にリストを作成したものである。今後は、継続的に掲載し、1年ごとに更新する事で承認された。

#### 2. その他

現在、実施しているがん検診ポスター&ロゴマークコンテストの応募状況について、応募者が少数である事が懸念されたが、締切は予定通り、10月20日で終了とすることが、確認された。

### 【協議事項】

#### 1. 沖縄県がん診療連携協議会について (1) (2) (3) 総合

増田委員より、これまでの協議会での部会報告について説明があり、今後の報告の仕方について問われた。その結果、これまで部会報告として、各部長より口頭で5分程度の報告が行われていたが、今後は、定期報告については、協議会資料(紙面のみ)で報告する事が当部会の意見として承認された。但し、重要報告については、必要に応じて各部会より選出し(基本的には部長が出席、部長欠席の場合は副部長が代行する)口頭で行う事とする。また、年度末など、最終報告が必要な協議会については、部長出席が必要であると意見がまとまった。

その他、11月19日（金）に開催される第3回沖縄県がん診療連携協議会へ、以下の6事項が普及啓発部会からの提案事項として挙げられた。

尚、この6事項に関しては、協議会に先立ち、10月25日（月）に開催される幹事会へ提案事項として挙げられこととなった。

- ① 子宮がんワクチン（HPV）公費負担について  
（市町村事での負担では、予防接種率は上がらない。県全体として負担してもらえないか）
- ② 妊婦のHTLV-1抗体検査と授乳指導について  
（妊婦への抗体検査の公費負担とその後の授乳指導についての具体的な取り組みについて）
- ③ 子宮頸がんアンケート集計結果  
（これまで実施した子宮頸がんに関する学生向け講演会の実施後アンケート結果について 総合アンケート結果の報告と、今後継続して行うための案について）
- ④ 高額医療に関する経済的補助について  
（高額医療費について、一部負担や、経済的な補助体制の構築）
- ⑤ 「命の大切さ」に関する学校教育（高校）への導入について  
（教育庁もしくは教育委員会と協力し、高校生（公私）の学校教育の一環として「命の大切さ」として授業を組み込み、がんについて知ってもらう。）
- ⑥ 一般向け講演会人材バンクリストについて  
（現在協議会ホームページに掲載している一般向け講演会講演者リストについて公表する）

## 2. 今年度事業計画の中間報告と授業内容の見直し

今年度事業計画3である「情報提供の地域格差をなくす」については、現在三木委員が個人活動しているプロジェクト「がんかわら版」出前屋プロジェクトを支援していくことが承認された。

また、現在各拠点病院へ設置しているがん情報ブースについては、写真と開閉時間等、協議会ホームページへ掲載することとなった。

## 3. その他

株式会社ヤクルト、琉球新報東京支社と協力し、鳥越俊太郎氏（ジャーナリスト/ニュースキャスター）をゲストとして迎える、『大腸がんに関する市民公開講座』の日程が、平成23年1月29日（土）と決定した。会場やその他詳細については、今後進捗が決まり次第お知らせすることとなった。

また、島袋委員より、5大がんを中心とした講演会が定期的に行けると良いのでは等の意見が挙げられた。

3. 次回の部会日程について

1 1月2日(火) 15時～ 琉球大学医学部管理棟2階 小会議室にて開催することが承認された。